


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立城南特別支援学校 肢体不自由		基	通学区域	品川区(全域)、大田区(全域)、港区(一部)	
		肢体不自由のある子供たちの特性や発達課題に応じた教育を行い、地域や社会の一員として自立する力を育てる			進路実績	生活介護施設8名、就労移行支援事業所1名、就労継続B型施設1名、自立訓練機関1名	
基本情報	所在地	〒144-0046 大田区東六郷二丁目18番19号	電話番号	03-3734-6308	本	教育課程の特徴	
	アクセス	(1) 京浜急行 雑色駅より徒歩5分 (2) (3)					
本	設置学部	小学部、中学部、高等部(通学困難生のための訪問教育があります)				情	副籍実施状況
	幼児・児童生徒数	131名(小学部70名、中学部33、高等部40名)					
報	学級数	35学級(小学部16学級、中学部9学級、高等部10学級、うち訪問学級4学級)				報	学校評価
	スクールバス	14台(大型7台、中型7台)					
その他	①オリンピック・パラリンピック教育推進校(アワード校)、②スポーツ教育推進事業校、③宿泊防災訓練、④放課後子供教室推進事業、⑤社会貢献事業指定校				ホームページ	http://www.ionan-sh.metro.tokyo.jp/cms/html/top/main/index.html	

目指す学校 ①児童・生徒が意欲的に学びたい学校 ②保護者が安心して、我が子を託せる学校 ③地域とともに歩み、地域の人々に信頼される学校 ④教職員一人一人が法令等を遵守し、相互の連携を深め組織的な学校運営を推進する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	外部人材活用したチームアプローチ、授業力の向上 ・教員と学校介護職員、看護師、非常勤看護師等の協働 ・ユニバーサルフレーム等の導入による自立活動の充実 ・協働した集団学習指導、個別学習指導の充実 ・安心・安全な学校として医療的ケア、医ケアバスの実施	①研究テーマの「楽しく分かる授業」に迫るチームアプローチのあり方について研究を進めた。外部人材との連携を豊かにすることで、人材を活用した授業力の向上を図った。 ②外部専門家の助言の下で2台のユニバーサルフレームの活用充実を図った。ユニバーサルフレーム研究協議会を設立し、各校の情報共有や活用時の留意点、今後の有用性検証等に努めた。 ③研究テーマの成果検証と、協働による集団学習指導の充実を図った。指導計画に基づく個別学習を着実に進めた。 ④校内のコンセンサスを図るとともに、安全・安心な医療的ケアの実施及び医ケア専用車両の推進を図った。	
目標②	オリンピック、パラリンピック教育推進校(アワード校)としての実践充実 ・アスリート等による体験型授業を実施 ・宿泊行事における日本文化の学習 ・教育支援プログラムを活用した国際感覚の理解 ・学校図書環境の整備、オリンピックパラリンピック教育の推進	①「スポーツ志向」をテーマに、複数のオリンピック・パラリンピアンの方の考え方や生き方を学び、スポーツを通して自分の生き方や自分の良さを理解できるよう、教育活動全体を通じ組織的に取り組めるようになってきた。 ②修学旅行や移動教室で、日本の伝統文化を知り、体験することで、自国の文化や伝統へ認識を深めることができた。 ③平成30年度「第1回都立高校生等によるボランティア・サミット」における本校の取組を生徒が発表し、通常の高等学校の生徒と交流を深め、「障害者理解」につなげることができた。 ④校内2箇所に図書コーナーを設置し、図書環境を充実した。近隣工科高校の協力を得て、環境整備を加速させる。	
目標③	災害時の児童・生徒の対応力の向上と健全育成の充実 ・防災備品の確認と使用方法の研究、研修の実施 ・宿泊防災訓練(中学部1年)と避難所設営シミュレーション実施 ・六郷工科高校等地域と連携した避難訓練の実施 ・いじめ、体罰の根絶と人権尊重教育の推進 ・校内における挨拶活動の重視	①防災備蓄品の確認研修、引渡し訓練、宿泊防災訓練等々と機器使用を関連させ、職員の防災ナレッジを高めた。 ②危機管理計画に基づく教職員行動を実施確認した。高校生ボランティアとの連携で避難所設営をシミュレートした。 ③管轄消防署による講話・講習、区の福祉課や防災課による実施確認、近隣企業の協力による迅速な避難ができた。 ④いじめ・体罰防止関連アンケートの年間4回実施と教職員への聞き取り、全校集会での表彰により肯定感が育めた。 ⑤生徒会による登・下校時の挨拶運動を定期的に行なった。教職員は、日常の挨拶等で常に児童・生徒へ範を示した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	保護者、児童・生徒からの個別指導計画に基づく指導の満足度(%)	80%	85%	80%	82%	80%	94%	85%	92%	85%	85%	85%
目標②	授業改善のための校内授業研究会や授業者支援会議の回数(回)	60回	55回	60回	80回	60回	98回	60回	70回	70回	70回	70回
目標③	ツイッターによる情報発信回数(回)(新規目標)							50回	95回	60回	60回	60回